

日本赤十字九州国際看護大学紀要 論文査読要領

1. 目的

「日本赤十字九州国際看護大学（以下「本学」という。）紀要論文 査読要領」は、投稿論文の査読を適正かつ公正に行ない、本学紀要にふさわしい論文を迅速に掲載することを目的とする。

2. 査読者

査読者は、図書館運営委員会紀要編集担当（以下「紀要編集担当」という。）が2名を選出する。学内に適切な者がいない場合は、学外から選出する。なお、査読者および投稿者はお互いに匿名とする。

3. 査読の流れ

- (1) 2名の査読者は、評価の基準に従って審査し、査読結果報告書（パスワード付与）に記入し、紀要編集担当宛てにメールで提出する。
- (2) 査読者により、a：採用（軽微な修正、または無修正で掲載可）と判定された原稿は、紀要編集担当で確認のうえ、最終決定をする。
- (3) 査読者により、b：条件付き採用（再審査は不要）と判定された原稿は、紀要編集担当が査読者に代わってその修正部分を確認し、修正が十分と判断した場合は、掲載を決定する。
- (4) 査読者により、c：条件付き採用（著者修正後、再審査が必要）及び、d：不採用と判定された原稿は、紀要編集担当で査読結果報告書を確認した後、原稿を執筆者に返す。
- (5) 査読者は、論文が正しく修正されているかを確認し、再査読結果報告書（パスワード付与）に記入して、紀要編集担当宛てにメールで提出する。
- (6) 査読および再査読結果を紀要編集担当で確認のうえ、最終決定をする。

4. 評価の基準

(1) 内容

1) 論旨

論旨の明確さおよび妥当性が認められるか

①論旨の明確さ

- ア. 論旨が正確であるか
- イ. 検証が適切になされているか

②論旨の妥当性

- ア. 論理の飛躍や裏づけのない断定がないか
- イ. 論理の展開に矛盾がないか

2) 独創性・有益性の有無

課題設定、方法、結果において独創性・有益性が認められるか

①課題設定の独創性・有益性

- ア. 既存研究の成果の状況、社会的ニーズの動向などを踏まえて、有益な課題設定がなされているか
- イ. 個性的でユニークな観点からの課題設定がなされているか

②方法の独創性・有効性

- ア. 既存研究の成果の状況を踏まえて、有効な方法論が設定されているか
- イ. 個人的でユニークな方法論が設定されているか

③結果の独創性・有益性

- ア. 仮説が検証され、より前進した仮説となっているか
- イ. 得られた知見が研究・教育および普及的実践的有益性を備えているか

3) 資料の信頼性

資料（調査データ、文献など）が信頼できると認められるか

- ア. 調査データに誤りや作為がないか
- イ. データの取り扱いに誤りがないか
- ウ. 論旨に照らして資料の用い方が適切か

4) 調査方法・分析方法の妥当性

調査方法および分析方法が妥当であると認められるか

①調査方法・実験方法の妥当性

- ア. 対象の選定が妥当であるか
- イ. 用いた技法が妥当であるか
- ウ. 仮説検証の手段が適切であるか

②分析方法の妥当性

- ア. 統計解析の方法が妥当であるか（量的研究）
- イ. 統計解析結果の解釈が妥当であるか（量的研究）
- ウ. テキスト解釈の方法が明示されているか（質的研究）
- エ. テキスト解釈が妥当であるか（質的研究）

(2) 表現

1) 表題

- ア. 表題が具体的でわかりやすく、論文の内容に照らして的確であるか
- イ. 副題を除いても主題が論文内容を理解し得るような表現となっているか

2) 内容説明

- ア. 論文構成上、重要な部分が十分に論じられているか、冗長な部分がないか
- イ. 本文の論旨展開に必要な図表・文献・注などが適切に含まれているか
- ウ. 図表は、内容的にわかりやすく、鮮明なものであるか

(3) 文献引用

- ア. 文献の記載が本学執筆要領(別紙)に正確に準じているか
- イ. 引用の内容が文献に照らして適切であるか

(4) 用語・訳語の適切さ

- ア. 用語は正確で、文章は分かりやすいものであるか
- イ. 訳語の定着していない外国語を翻訳している場合は、訳語と原語との対応が明らかにされているか
- ウ. 次のような用語は、明確に定義されているか
 - ・学会で確立されていない用語（新造語を含む）
 - ・学会で確立されているもので、当該論文で別の意味で使われる用語
 - ・限られた分野のみでの慣用語や略語
 - ・多義的に使われる用語
 - ・訳語の定着していない外来語

(5) 図表表題の適切さ

- 図や表の表題は内容を適切に表しているか

5. 総合判定

- a : 採用
- b : 条件付き採用（再審査は不要）
- c : 条件付き採用（著者修正後、再審査は必要）
- d : 不採用

6. 査読者の指摘事項

- (1) 査読者は、新たな調査や実験を追加する要求はしないものとする。
- (2) 不相当と思われる内容や表現を含む査読者指摘事項については、紀要編集担当が修正または削除することがある。